

自治体における取組事例(共同受注窓口の運営) 東京都世田谷区

世田谷区作業所等経営ネットワーク (世田谷セレ部)

(参考) 世田谷区の障害者就労施設等からの調達実績額

26年度 約1億637万円・物品 約5,164万円
・役務 約5,473万円

ポイント

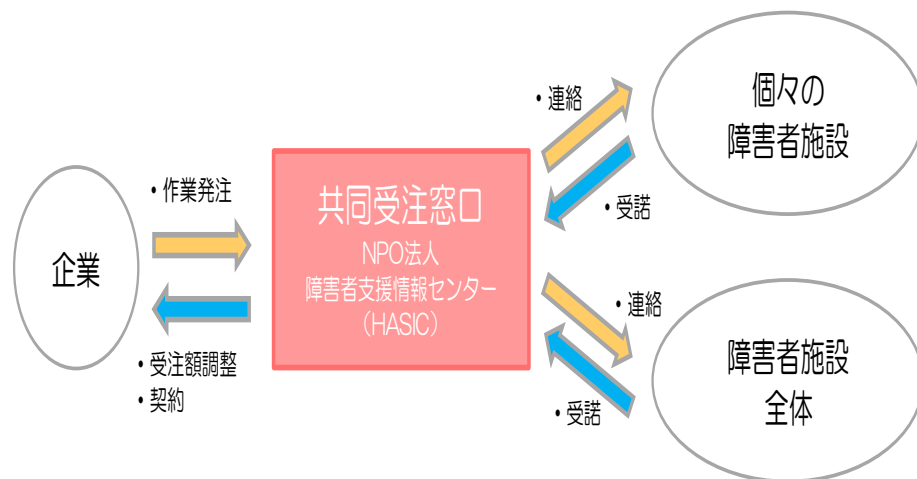
- 区の委託によりNPO法人が共同受注窓口を運営している。
- 同NPO法人が地域の経済団体に加盟するとともに、企業による障害者施設見学の積極的受入れや製品カタログを作成し、民需の増進を図っている。
- 区内施設が参加する定例会議を開催し、各施設が共同で新製品の開発も行っている。

世田谷区作業所等経営ネットワーク (世田谷セレ部) の概要

- 区の委託により、NPO法人が共同受注窓口業務を担っている。企業からの発注情報を区内の障害者施設にメール等で連絡し、受注を希望する施設をとりまとめ、企業と契約する役割を担っている。
- 参加施設・事業所60か所、26年度受注額約347万円
- 地域の経済団体に加盟し、企業との太いパイプを作り、区内施設の作業受注や自主生産品販路の拡大につなげている。

工夫点

- 企業による施設の見学を積極的に受け入れ、企業から興味を持ってもらうことを心掛けている。
- 同ネットワークに参加する施設が製造する製品のカタログを、プロのデザイナーに依頼して作成し、受注促進につなげている。
- 複数の施設が製造するお菓子を詰め合わせたギフトセットや清掃に使える雑貨の詰め合わせなど、各施設が共同で新製品開発に取り組んでいる。
- 都の事業を活用して、障害者雇用や就労支援に詳しい経営コンサルタントから障害者施設の売上や工賃の向上等に関する支援を受けるとともに、同ネットワークの運営方法の向上を図っている。



問合せ先

世田谷セレ部事務局 NPO法人障害者支援情報センター
電話 03-3705-9828 FAX 03-3705-9503